

げんき通信③

仙北市長 門脇光浩

「出会いに染まる」

旅は出会いと発見に満ちています。そして人生を豊かにしてくれます。新しい知識との出会い、見知らぬ人との出会い、心の奥に仕舞い込んだ本当の自分との出会い…。

ところで、旅は旅に出る人達だけのものではありません。お迎えする側も、居ながらにして同じような発見ができます。来訪者との交流は、生活の豊かさ、逆に足りないモノ、まちの在り方など、多くを学ぶチャンスです。こんな機会を逃す手はありません。

春、仙北市は草木が一斉に芽吹き、ミズバショウ・カタクリ・サクラなどを愛でる観光客でに

ぎわいます。旅人と市民の出会いから何が生まれるか、本当に楽しみです。

新設のT I C（仙北市ツーリスト・インフォメーション・センター）は、市民と来訪者の結びを演出します。総合産業研究所は、生産者と消費者を結ぶ所得の架け橋。木質バイオマス発電所も、森林とエネルギー産業の新たな出会いと言えます。

人も、まちも、出会いに染まる季節です。

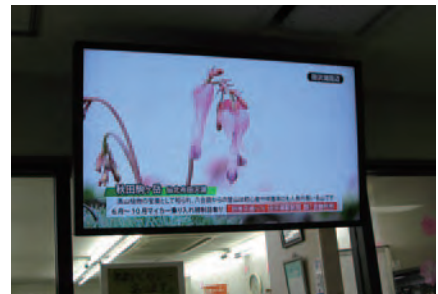


J R角館駅待合室に電子看板設置 ～観光・交通情報を提供～

J R角館駅待合室に、42インチ液晶モニターを使用した電子看板（デジタルサイネージ）が設置されました。

これは、秋田内陸地域公共交通連携協議会（仙北市・北秋田市が設置）が、平成21年度から実施している地域公共交通活性化・再生総合事業補助金を活用し設置したもので、主に観光客に向けて、観光情報と目的地までの二次アクセス案内を動画を交えて情報提供するものです。

角館駅にお立ち寄りの際は、ぜひご覧になってみてください。



羽後交通バス松葉内線 松葉車庫～上戸沢間が半世紀以上にわたる運行に幕

3月31日、羽後交通松葉内線の一部区間（松葉車庫～上戸沢）が、利用者の減少によりやむを得ず廃止となりました。同線は、戦後の復興期から今日まで半世紀以上にわたって住民生活と地域の発展を支えてきた重要な生活路線です。

31日夕刻の最終便には、紙風船館前に50人を超す地域住民が出迎え、長年の運行に対し感謝の意を伝えるセレモニーが行われました。

それぞれ思い出の詰まった赤い羽後バスを感謝の気持ちで見送りました。



広報せんぼくでは、地域イベントや情報などを募集しています

広報せんぼく 2010年4月16日号 No.56

■発行・編集 仙北市役所 総務部総務課文書広報係

■〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖生保内字宮ノ後30番地

■発行 1日・16日 ■印刷 (株)松本印刷

■TEL0187 (43) 1111

■FAX0187 (43) 1300

■E-Mail semboku@city.semboku.akita.jp

■URL <http://www.city.semboku.akita.jp/>